

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	学年	第2学年	講座	
単位数	2単位	教科書	美術2 (光村図書)				
副教材							

学習目標	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
------	--

		学習計画及び内容	考查
1 学 期	4月	鑑賞	・多くの美術作品に触れ、主体的に鑑賞する力を伸ばす。 ・トーンセパレーションの技法を用いて、リアルな表現力を高める。 ・自由な発想により、構成力や色彩感覚を養う。 ・人権意識を高め、墨汁による表現方法を学習する。
	5月	絵画 (点描画)	
	6月	デザイン(平面構成・立体構成)	
	7月	絵画(人権絵手紙)	
2 学 期	8月	立体造形	・手作りの立体パズルの制作により創造の喜びを味わう。 ・立体パズルのパッケージデザインを切り絵の技法を用いて制作する。 ・自己と向き合いながら、外見と内面を深く描写する。
	9月	デザイン(ペーパークラフト)	
	10月		
	11月	絵画(自画像)	
3 学 期	1月	鑑賞(トリックアート)	・錯視などの視覚的な面白さを体験し、造形の楽しさを味わう。 ・空想力を働かせて、自由でユニークなデザインを構成する。 ・1年間の学習を振り返り、学習成果の確認と自己評価を行う。
	2月	デザイン(ダブルイメージ)	
	3月	学習のまとめ	

学習の方法	1 表現活動では、絵画・彫刻・デザインなどの幅広い分野の制作に取り組み、作者がそれぞれの個性を発揮できるよう表現方法を考える。
	2 鑑賞活動では、お互いのよさを認め合い、感性を高め合えるようにする。
	3 制作を通して自己と向き合い、積極的に表現する能力を高める。

評価の観点	美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。

備考	
----	--